

2018年 10月号No. 92 毎月6日発行		原水協通信 (茨城版) 原水爆禁止茨城県協議会 〒310-0912 茨城県水戸市見川5-127-281 茨城平和会館内 TEL/FAX 029-251-9919 e-mail antiatom-i@email.plala.or.jp 会長 加藤 岑生 原水協通信 頒価¥220/月 核兵器廃絶署名 38,244筆 '18.9/5 現在
-------------------------------	---	---

関東甲信越ブロック原水協学校」 in塩原

2018年9月9日・10日：又川速雄

核兵器のない世界の実現に向けて、核兵器禁止条約発効の展望、朝鮮半島をはじめ歴史的情勢の進展の中で核廃絶に向かう私たちの運動と役割を確認して組織と運動の強化をどう図るか、関東甲信越各都県の情報交換と活動交流を深めた。

栃木県那須塩原市塩原のかんぼの宿で9日13時から翌日11時30分まで開催されました。秋の味覚と紅葉を楽しみながら思いを深めようと思いきや、皆さんの熱心な討論と質疑に時間の経過も忘れる状況で、寝る時間も惜しんだ仲間も居たようでした。

9月9日13時45分から16時20分まで日本原水協事務局次長：土田弥生氏から「核のない世界の実現へー私たちの運動の役割」について講演。

核兵器禁止条約の採択を経て歴史的な一歩として核兵器のあらゆる活動の禁止への規範を高めている。そして122カ国が賛成した条約が世界の大きな流れにあり、後戻りできない状況であることを、今後、国連、各国政府、市民社会、被爆者の協力の下に進展していきます。

核兵器をめぐる危険と現実では、廃絶推進勢力と妨害勢力の激しいせめぎあいとして、アメリカの核態勢見直しが戦争で使えるような小型核兵器の開発、相手からの攻撃に対する核兵器での対応、日本への持ち込み配備強化と米英仏対中露の対立の激化による核軍拡競争が進んでいる。そして、安全保障の条件ができないと核軍縮はできないと主張している。しかし、核兵器削減はNPT6条の義務を履行している。また、結論に至るまでの解決策がなく、禁止条約の欠陥が露わにし、分断を深くし、追いつめられているからこそ、核保有国の激しい抵抗になっている。

軍縮をめぐる議論の変化は、核保有国や核の傘の国が否定できない点では①核兵器のない世界の実現が目標であること。②核兵器は二度と使用されてはならないこと③核兵器の非人道性のこのことが保有国も被爆者には一目置かざるを得ないことは、非核国の人道のイニシアチブや被爆者、運動の成果である。

日本でも世界でも核兵器廃絶は多数派を前進させ労働者（労組）と政党の共闘化が大切であると福山元原水禁事務局長の発言もあり、運動統一のステージへの機運にある。

最後に、2020年被爆75年へ向け、署名活動を進めましょう。若い世代で新しいラウンドでステップアップそして自治体・野党への働きかけ・広範な団体など協同を広げることの訴えで締めくくりました。

※トピックス 翌日、米軍機が時間に関係なく夕べもこの上空を飛んだ「オスプレイ」かなと翌日の話から各地での行動と現状の報告。

来年は、群馬県で語ろうでとの決意で閉会となりました。

原水爆禁止茨城県代表 明日天気になーれ

核兵器禁止条約批准国19カ国、署名69カ国（2018.9.27現在）

批准国は次の通り：ガイアナ、タイ、バチカン、メキシコ、キューバ、パレスチナ、ベネズエラ、パラオ、オーストリア、ベトナム、コスタリカ、ニカラグア、ウルグアイ、ニュージーランド、※クック諸島、ガンビア、サモア、サンマリノ、ヴァヌアツ
※クック諸島は、同条約に調印せずに加入書を国連に寄託しました。加入は批准と同じ法的効力を持ちます。

対人地雷禁止条約の各国の批准より早く進んでいます。

積み上げよう！

ヒロシマ・ナガサキのヒバクシャが訴える核兵器廃絶国際署名

「ヒバクシャ国際署名」への自治体関係者の賛同は7割（1,188自治体）にひろがり、署名数は830万に達した。

日本政府に核兵器禁止条約への調印・批准を求める自治体意見書決議も300を超えてひろがっています。

日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める意見書採択を12月議会に向け求めましょう。

現在、9月27日の時点で批准国は19カ国、署名69カ国となりました。国名は、このページの左下をごらんください。

10月1日～2日開催された日本原水協常任理事会決定から

茨厚労2018年度平和活動スタート

茨厚労・安本真理子さんから

8月26日に定期大会を終え、茨厚労の平和委員会は、引続きのメンバー8名と新メンバー7名の15名で2018年度をスタート。第1回平和委員会を9月15日に開催し、広島での原水爆禁止世界大会の報告や今年度の活動について、2019年版ちひろカレンダーの普及、3000万署名・国際ヒバクシャ署名の推進等について話し合いました。

ちひろカレンダーを取り組む意義を学習し、昨年度同数の31部を扱うことを確認。また、いわさきちひろさんの魅力を知ることこのカレンダー普及の力にしたいね。と今年度は平和ツアーちひろ美術館見学も企画案としてあがっています。国際ヒバクシャ署名は、10月28日に土浦協同病院のあるおおつ野団地の「おおつ野秋フェス」にテント参加しながら土浦支部で取り組むことになりました。誰もが賛同できるヒバクシャ署名を地域の皆さんと交流しながら訴えていきたいと思います。

茨厚労平和委員会

今月の草花



撮影：柳岡

ツリガネニンジン（釣り鐘人参）
薄紫の可憐な花。春の時期、若芽を食用にも。
近縁種に、オトメ・シヤジン、フクシマ・シヤジン、ハクサン・シヤジン、サイヨウ・シヤジンなど。
雑草の中にあっても、力強く15ミリ〜20ミリの花を咲かせる。
根は沙参（シヤジン）と呼ばれ、生薬に。これを朝鮮人参のマガイモノとされたことも。しかし、薬効は異なる。咳止め、痰切り、健胃剤とされる。
この生薬を買うときは、くれぐれも釣り銭のないように。
（柳）

茨城県内の非核平和事業(平和大使)取組状況

NO	自治体名	派遣先	派遣人数	平和大使の発表等	その他の取組	備 考
1	龍ヶ崎市	広島・長崎 沖縄(2018年)	12名 中学6校×2名 希望者から抽選	「戦没者慰霊祭」で発表 歴史館展示で感想文展示	被爆・戦争に関する展示 2018年(歴史館・対馬丸／市役 所・原爆と人間展)	
2	水戸市	広島	12名 小学5～中学3 約1万人 「平和作文」優秀者			
3	日立市	広島・長崎 2017年広島	15名(中学生)		「語り継ぐ平和への思い」	3年の一度
4	土浦市	広島	16名 中学8校×2名 学校推薦	人権と平和のつどいで発表 体験発表冊誌配布		
5	石岡市	広島	10名 中学5校×2名	石岡ふるさと歴史館で展示 「戦没者慰霊祭」発表 広報紙で感想文掲載		
6	結城市	広島	6名(中学2年生) 中学3校×2名	学校での報告会		友好都市・小山市 と合同
7	高萩市	広島	14名(小・中生)	「教育を考えるつどい」 で発表		
8	北茨城市	広島	80名(小学5・6年) 2018年77名			「広島平和の旅」 事業
9	牛久市	広島	20名(中学)	中学校「平和の集い」発表 地域の人も参加		7/29～8/1平和式典 には参加せず
10	つくば市	長崎	6名 中学3校×2名	学校での報告会	平和体験教室(小学5・6年 希望者)	
11	稲敷市	広島	8名 中学4校×2名	学校の文化祭等で発表		
12	大洗町	広島	4名 中学2校×2名	広報紙で感想文発表		
13	東海村	広島	10名 小学6校×1名 中学2校×2名	「東海村教育振興大会」 で発表		
14	美浦村	広島	3+3名 小学生親子3組 抽選	広報紙に感想文掲載	非核平和パネル展	「非核平和美浦村 宣言推進協議会」 あり
15	阿見町	広島	6名 中学3校×2名	報告書を中学に配布	原爆パネル展 「予科練平和記念館」で展示	「原爆と人間」パ ネル貸出
16	利根町	広島	中学生6名			2018年から

取り止めた自治体

1. 常総市(旧水海道市)
2. 取手市

被爆柿 2 世	取手二中・牛久三中・阿字ヶ浦小学
被爆アオギリ 2 世	那珂市役所・田彦中学
被爆クスノキ	那珂市

- 県内の非核自治体宣言は44自治体 ヒバクシャ国際署名首長の肩書署名 34（茨城県知事を含め）
- 2018年原水爆禁止国民平和行進賛助金 42首長、39議長、24教育長から寄せられています。有難うございます。

岩崎ちひろ生誕100年前進座講演　ちひろカレンダーの絵に込められた思いを知り、販売促進を！！

公演場所と日時は 前進座ホームページ http://www.zenshinza.com/stage_guide4/chihiro/index.htmlを見てください。

いわさきちひろ生誕100年★前進座公演

協力=ちひろ美術館

原案=松本 猛 台本=朱 海青 演出=鶴山 仁

ちひろ

— 私、絵と結婚するの —

＊お問合せ・お申込み

前進座チケット専用ダイヤル

☎ 0422-49-0300

(9:30~18:00 休み:第二第四土曜、日祝、年末年始)

東京で出会った師、友人、画家達…激動の時代の中で希望に燃えつつも、誰もが戦争に傷つき、大切なものを失っていました。「絵と結婚して、一生一人で絵を描いて生きていく…」ちひろは何故そんな決心をしたのか—そしてその強い決意は変わるのでしょ

米国の殺人兵器を高額で買い、年金を切り捨てる。消費増税と高額所得者への減税を抱き合わせに。

百里基地のお稲荷様は、本家の笠間のお稲荷様と、今や絶縁状態。護憲の稲荷(百里) VS 改憲の笠間の戦いはこれからが本番です。(柳)

編集後記

猛暑の夏もいよいよ終焉、秋本番が近づいてきました。

茨城県議選も間もなくです。

来年は一斉地方選、そして七月には参議院選挙。安倍政権で2020年のオリンピックを迎えようとしています。でもありません。

米朝会談に水を指し、沖縄の自然破壊で辺野古の基地を日本の税金で作ろうという。

原発の再稼働を次々に進めれば、最終的に行き場のない使用済み核燃料がどんどん増える。